

## 研究彙報 (昭和57年1月〜同12月)

主催 京都国立博物館・財団法人冷泉家時雨亭文庫  
財団法人冷泉家時雨亭文庫の法人設立一周年を記念して、昭和五十七年度に重要文化財の指定をうけた書跡・典籍・古文書十件を中心に、和歌の家としての冷泉家の生活と文化を物語る作品を陳列。

### ●特別陳列 (▽印は毎年の恒例的な陳列)

源頼朝・平重盛・藤原光能像 一月五日(火)―一月三十一日(日)

新館中央室 担当・中野玄三

修理完成記念の特別陳列で、関連する肖像画も陳列した。

▽手鑑と古筆切 一月五日(火)―一月三十一日(日)

新館13号室 担当・下坂 守

▽十二天画像と山水屏風 一月五日(火)―一月三十一日(日)

新館11号室 担当・中野玄三

新大仏寺と重源上人 一月五日(火)―四月二十五日(日)

新館6・7号室 担当・伊東史朗

新大仏寺本尊阿弥陀如来像修理完成記念の特別陳列で、重源関係資料も陳列した。

▽人形 二月十七日(水)―三月十四日(日)

新館14・17号室 担当・切畑健

▽新収品展 五月十八日(火)―六月二十日(日)

新館中央室

昭和五十六年度に購入したり、寄贈を受けた作品、計三七件を陳列した。

六道の絵画 八月四日(水)―九月五日(日)

新館8〜11号室 担当・中野玄三

六道のさまざまな惨苦の図や、六道救済の仏である観音や地藏の画像などを系統的に陳列し、六道絵展開の跡をたどった。

中国の書 九月二十九日(水)―十月三十一日(日)

新館13号室 担当・下坂 守

中国における書風の流れを追うとともに、中国の書がわが国に与えた影響にも留意して陳列した。

畿内の弥生土器 十月五日(火)―十一月十四日(日)

新館中央室 担当・八賀 晋

### ●特別展覧会 (○印は共催)

○釈迦信仰と清涼寺

会期 三月三十日(火)―五月五日(祝)

会場 京都国立博物館・本館1〜6号室

主催 京都国立博物館・清涼寺・京都新聞社

本年は清涼寺本尊三國伝来釈迦瑞像を日本に請来した裔然が入宋してからちようど千年になる。これを記念して、釈迦信仰関係の美術品と清涼寺の寺宝で展覧会を構成した。

花鳥の美―絵画と意匠―

会期 十月五日(火)―十一月十四日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館

日本・中国・韓国の絵画・工芸・彫刻・考古のなから、すぐれた花鳥表現を選んで約二七〇件を展示。

特別記念展示 (○印は共催)

○知恩院と法然上人絵伝

会期 三月三十日(火)―五月五日(祝)

会場 京都国立博物館・本館7〜10号室および新館8・9・中央室

主催 京都国立博物館・知恩院

本年は法然上人誕生八百五十年にあたるので、国宝法然上人絵伝四十八巻を中心に、知恩院所蔵の名宝を展示した。

○冷泉家の生活と文化

会期 六月三十日(水)―八月一日(日)

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

会場 京都国立博物館・新館13・中央室

畿内の土器の器種や器形の移りかわりなどを、河内地域からの最近の発掘調査の資料を中心に陳列した。

近世の七宝工芸 十月五日(火)―十一月十四日(日)

新館16号室 担当・稲田和彦

近世の釘隠・引手などの金具類を中心に陳列した。

近世初期の染織 十月十四日(木)―十一月二十三日(祝)

新館14号室 担当・切畑 健

室町時代から江戸時代初期までの唐織・繡箔・辻が花などによって、豊かに花開いた染織美を探究した。

▽鉄斎 十二月十四日(火)―一月十六日(日)

新館9号室 担当・金沢 弘

## ●出版刊行

『富雄丸山古墳・西宮山古墳出土遺物』京都国立博物館 昭和五十七年三月 担当・八賀 晋

京都国立博物館蔵「富雄丸山古墳・西宮山古墳出土遺物」の図録で、概説・遺物解説・図版・図面・計測表・英文概要・英文図版目次を収録。A4版、収録図版原色五図・単色五四図、頒価八千七百円

『古面』京都国立博物館 昭和五十七年三月 担当・井上 正 伊東史朗  
昭和五十五年度特別展覧会「古面の美―信仰と芸能」に出陳の作品を中心にした図録で、解説・図版解説・資料・英文概要・英文目録を収める。B4版、図版原色四十図・単色百八十七図 頒価三万四千円

『京都国立博物館 学叢』第4号 京都国立博物館 昭和五十七年三月  
京都国立博物館職員による研究紀要。論文三篇、作品研究三篇、資料紹介二篇、研究随想・研究叢報・昭和五十六年館員執筆物一覧・英文概要などを収録。A4版。図版原色四図・単色三三三図、頒価三千元。

『研究発表と座談会 仮面と宗教』仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書第九冊 昭和五十七年三月  
昭和五十五年十一月七日におこなわれた研究シンポジウムの要約。A4版、本文二六頁、単色図版二四頁、英文概要。頒価千五百円

『花鳥の美―絵画と意匠―』特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和五十七年十月

昭和五十七年十月五日から十一月十四日までを会期とする特別展覧会「花鳥の美―絵画と意匠―」の概説および解説付総目録。B5版、総頁数三三三頁、収録図版原色八図、単色二七〇図、頒価千円。

『六道絵』特別陳列目録 京都国立博物館 担当・中野玄三 若杉準治 西上実  
昭和五十七年八月四日から九月五日までを会期とする特別陳列「六道の絵画」の概説および解説付総目録。変型25×24 総頁数八十四頁、収録図版原色六図・単色五十四図、頒価千円

『冷泉家の生活と文化』特別記念展示目録 京都国立博物館 昭和五十七年六月 担当・下坂守  
昭和五十七年六月三十日から八月一日までを会期とする特別記念展示「冷泉家の生活と文化」の概説および解説付目録。B5版、総頁数二四頁、収録図版原色四図、単色四十九図、頒価三百円

## ●シンポジウム

第一回国際シンポジウム「アジアにおける花鳥表現」

主催 国際交流美術史研究会

期日 十月二十二日―二十八日

会場 京都国立博物館および求是荘

参加者 海外研究者六名・国内研究者十一名・役員参加者七名

研究発表と座談会「宗教における動植物表現」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表者 林屋辰三郎)

期日 十月十二日(火)

会場 京都国立博物館

参加者 約五十名

研究発表 ヨーロッパ(柳宗玄)・西アジア(井本英一)・インド(肥塚隆)・中国(曾布川寛)・日本の植物(井上正)・日本の動物(中野玄三)  
座談会(司会 木村重信)

## ●国内における調査研究

東洋美術における鳥獣表現の成立とその展開についての調査研究

一月―十二月 代表 林屋辰三郎

九世紀を中心とする雑密系尊像の調査

一月―三月 担当 井上 正・伊東史朗

日本における陶質土器の初現とその系譜についての調査

一月～十二月 担当 八賀 晋

九州・山陰地方の遺跡および各地資料館での調査

中国明末清初の画壇の動向についての調査

一月～三月 担当 西上 実

埋経と伝世写経の書風に関する比較研究

十月～十二月 担当 難波田 徹

京都府下の社寺調査

一月～十二月 担当 伊東史朗

●海外における調査研究および出張

林屋辰三郎

二月二十二日～同二十八日（行先 大韓民国）

岡野 博

特別展「花鳥の美」の出品作品事前調査及び韓国内博物館事情視察

難波田 徹

二月二十二日～三月七日（行先 大韓民国）

西上 実

特別展「花鳥の美」の出品作品事前調査及び韓国内博物館所蔵文化財の調査研究

伊東史朗 八月十八日～九月十三日（行先 米国）

キンベル美術館における「日本彫刻展」出品文化財に随伴

伊東史朗 十月十五日～十二月十四日（行先 イギリス・西ドイツ・フランスなど）

大英博物館・ローマゲルマン博物館・ギメ博物館などにおいて、ヨーロッパ所在の宗教美術と極東仏教美術との比較文化的考察（昭和五十七年度文部省在外研究員）

金沢 弘 十一月一日～十一月十二日（行先 米国）

ボストン美術館における日本絵画に関するシンポジウムに参加（招へい）及び米国内美術館所蔵品の調査研究